国際理解コース

名古屋市立北高等学校
2022.12.13

Polaris news

【北高ニュース NO.202212】

「外務省高校講座」
外交官の仕事とは
（2022.12.12）

大臣官房在外公館課首席事務官市川大輔（いちかわだいすけ）氏を迎え、国際理解コースの１・２年生対象に講話をしていただきました。外交官の仕事とはどんなものか、様々な国での経験を織り交ぜながら、歴史を学ぶ意義や、多様性を受け入れる大切さなどを話していただき、生徒たちは国際関係の難しさや、国際協力の重要性などを学びました。

■生徒の感想より

- 外務省は、世界においての日本の「あり方」や「地位・立場」を決定づける最も責任の重い機関だということが分かりました。
- 「自分や日本の事をどこまで知っているか、外国人に自分や日本について説明ができるか」という言葉が心に残りました。確かに、学校で日本のことを習ってきましたが、いざ外国人に説明できるかと言われるとできないと思いました。
- 外務省は輸出入関連の仕事やパスポートの発行、諸外国との関係調整など様々な仕事を行っているということを知りました。
- 現在、日本の経済力は低下し先進国とは言えないということを知りびっくりしました。ただし、そのことによってすぐに何かが変わるということはないので、まだまだできることはたくさんあると市川さんはおっしゃっていました。私も自分にできることで日本に貢献したいと思いました。
- 今日の講演で心に残っているのは国際協力の大切さです。日本の食べ物・衣服など、多くのものが海外からの輸入品です。輸入国に何か問題が起こったら物価が高騰したり、手に入らなくなったりしてしまいます。他国との繋がりは日本が有事の際に生き残るために必要不可欠です。この繋がりを確実なものにするのが日頃からの国際協力であり、外交官の仕事だということがわかりました。